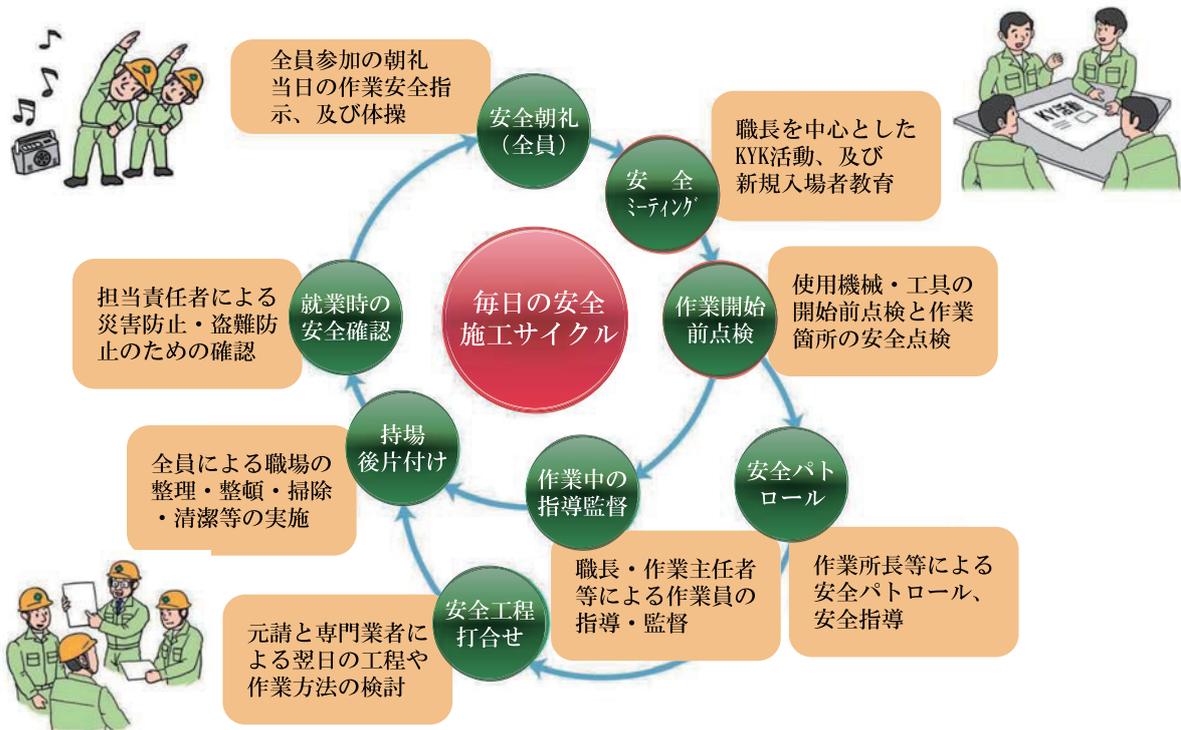


# 現場の安全を確保する

## ① 安全施工サイクル

安全施工サイクルとは、現場の日常業務の中に、さまざまな安全活動を組み入れていくものです。

### 1) 毎日の安全施工サイクル



### 2) 毎週・毎月・随時 行う実施事項

#### ● 毎週の実施事項

- ・ 週間安全工程打合せ
- ・ 週間点検
- ・ 週間一斉片付け

#### ● 毎月の実施事項

- ・ 災害防止協議会の開催
- ・ 定期点検・自主検査 (元請・専門工事業者)
- ・ 安全衛生教育
- ・ 職長会の開催

#### ● 随時行う活動

- ・ 入場予定業者との事前打合せ
- ・ 新規入場者教育
- ・ 持込機械の届出
- ・ 安全衛生大会

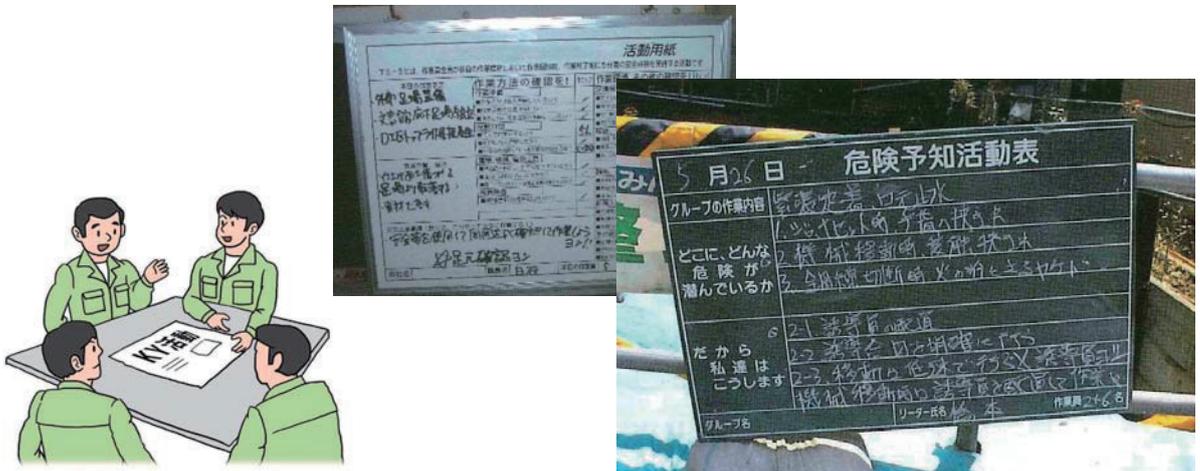
## ② 4S活動(整理・整頓・清掃・清潔)

安全の基本は整理整頓です。建設現場ではつまずいて転倒する災害も後を絶ちませんが、整理整頓をしっかり行い、つまずくものがないければ、つまずきによる転倒は撲滅できます。



## ③ KY活動(危険予知活動)

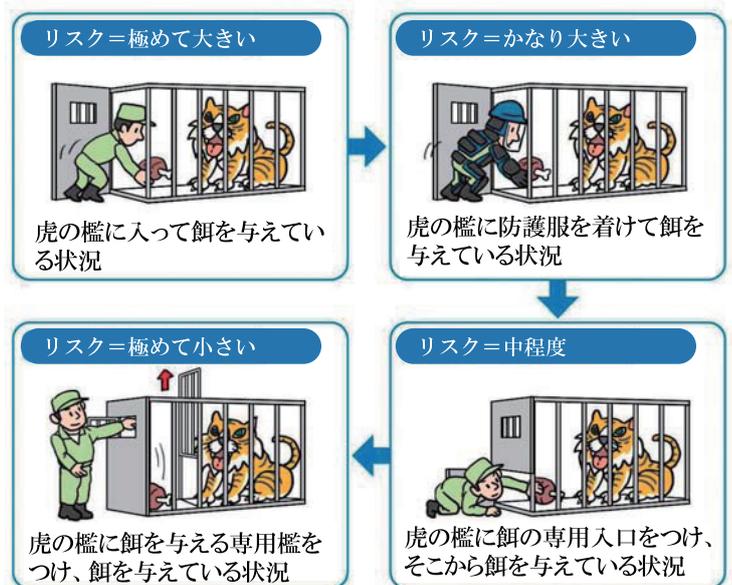
KY活動とは、作業開始前に作業グループで話し合い、作業の中に潜んでいる危険を見つけ出し、対策を立て実行することです。



## ④ リスクアセスメント

リスクアセスメントとは、

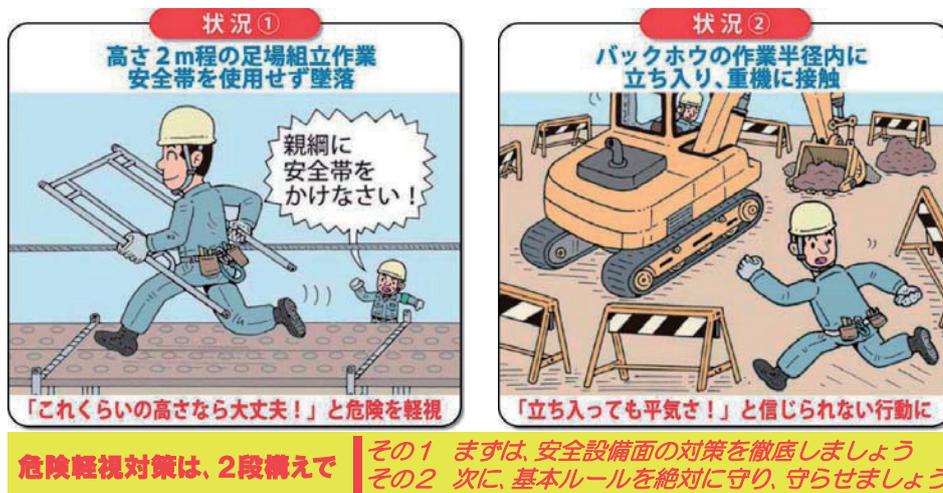
- 作業前に、作業に潜在する危険を洗い出し、
- その洗い出した作業の危険は、どのくらいの頻度で発生するのか、どのくらいのケガや病気になるのか、危険の大きさを見積り、
- その結果から対策を立てるものの優先順位をつけ、
- 優先度の高いものから除去・低減対策を立て、
- 対策を実施し、危険の大きさを許される水準まで下げることである。



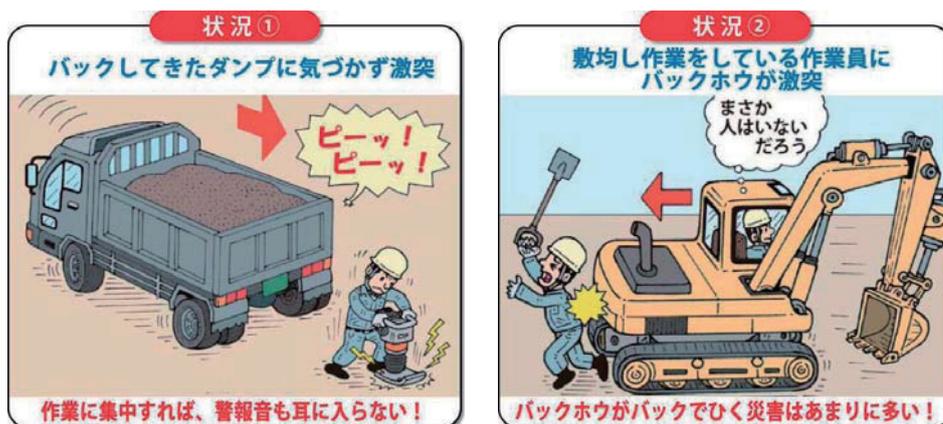
対策を講じることでリスクの大きさは変わる

## ⑤ ヒューマンエラー災害

【危険軽視】 建設業で最も多いヒューマンエラーです。



【不注意】 建設業では、不注意によるヒューマンエラーも多発しています。



上の事故防止は、安全指示「重機に注意」ですか? 違います。人間の注意力には限界があり、「〇〇に注意」は効果がありません。作業に集中し安全に気を配れなくても事故に遭わない。これがヒューマンエラー対策です。例えば重機誘導員を配置し、彼が作業員を守ります。

【本能】 場面行動本能(人間は、自らの命より手にもつ工具を大事にしてしまう時がある)  
近道・省略行動本能(「面倒だな」と感じると、簡単に不安全行動を起こしてしまう)



本能がもたらすエラーはいくら教育・訓練しても防ぎようがありません。対策は、場面行動がいつ起こっても墜落しないために、安全帯を必ず使しましょう。また、近道行動が起きないように、「面倒だな」と感じさせない設備の充実にも努めましょう。